

発情を見逃さないために

繁殖管理で重要なことは、発情を発見し適期に授精することです。そのため発情を見つけることが重要になります。ポイントは①発情周期と②発情兆候の二つになります。

① 発情周期

黄体の退行と卵胞発育に伴ってホルモンが分泌され、牛の体や行動は変化します。牛の発情周期は21±3日程度とされています。繁殖管理盤や繁殖カレンダーの活用により発情周期の管理を徹底しましょう。また明確な発情のためには分娩前後のエネルギー不足を起こさないように周産期疾病の予防に努めることが重要となります。

② 発情兆候

発情兆候を示すのは朝と夕方に多いとされています。1日に2～4回発情牛を観察する時間を設け、「この牛普段と何か違うな？」を見つけることが発情の早期発見に繋がります。

	← 6～10時間	18時間	10時間 →
	← 発情行動 →		← 授精適期 →
発情兆候	<ul style="list-style-type: none"> ○隣の牛のにおいをかぐ ○他の牛に乗駕する（マウンティング） ○外陰部が赤く膨張し、湿潤（写真1） ○咆哮 	<ul style="list-style-type: none"> ○乗駕を許容する（スタンディング） ○後躯に触れても嫌がらない ○人にすり寄る ○粘性の強い透明な粘液が出る（写真2） ○食欲、泌乳量が低下する 	<ul style="list-style-type: none"> ○乗駕を嫌う ○後躯に触れると嫌がる ○粘性の強い透明な粘液が出る（写真2）

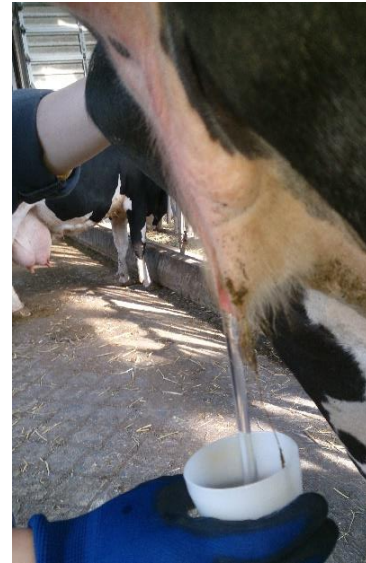
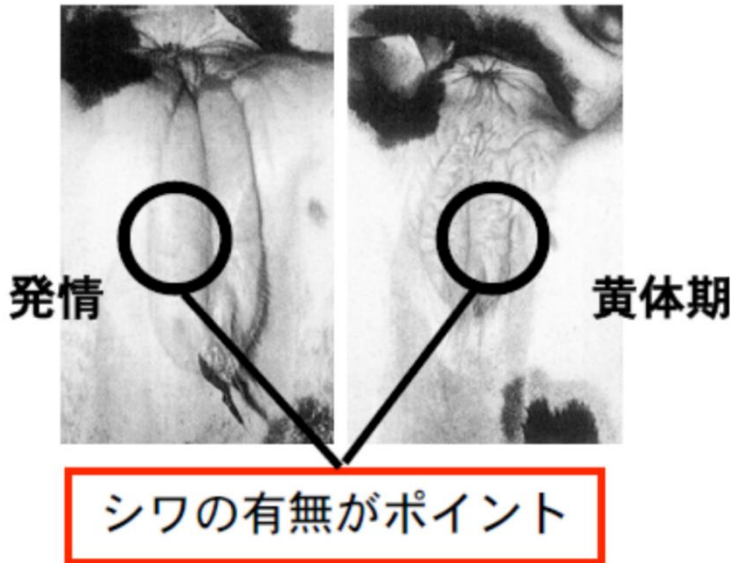


写真1 外陰部の膨張（人工授精テキストより） 写真2 発情時の粘性の強い透明な粘液